

# 都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



## 【目次】

・『立地適正化計画実務講習会』の実施について（報告）	P 1
・第 23 回合同講演会の開催	P 2
・アーバンインフラ・テクノロジー推進会議 都市づくりについての技術研究発表および講演会 開催結果	P 2
・平成 26 年度 第 3 回都市基盤施設整備見学会の開催	P 4
・機構の活動状況	P 6

## § 『立地適正化計画実務講習会』の実施について（報告）

当機構では、平成 26 年 12 月 16 日(火)賛助会員である建設コンサルタントの方々を対象とした「立地適正化計画実務講習会」を実施しました。

すでにご案内のとおり、本年 8 月 都市再生特別措置法が改正施行され、いわゆるコンパクトシティの形成を促進するため「立地適正化計画」の作成が位置付けられるとともに、都市再生整備計画事業の拡充等がなされたところです。また、国の立地適正化計画策定支援を受けて、同計画づくりに着手した市町村も出てきているところですが、緒に就いたばかりで、手探りのところもあろうかと考えられます。

そこで、当機構の賛助会員である建設コンサルタントの方々、及び、都市再生整備計画コーディネーターの方々を対象に、立地適正化計画に関する知見を高め、実践的な能力を得る機会とすべく、少人数での実務的な講習会を実施しました。国土交通省から講師をお招きしてご講演をいただくとともに、現在計画づくりが進められている都市の事例研究や参加者からの質疑応答、意見交換等を実施しました。

今後とも、こうした機会を通じて立地適正化計画や都市再生整備計画事業に関するノウハウの蓄積につなげていきたいと考えております。

### ■ 講習会 内容

1. 講 師 国土交通省都市局都市計画課 施設計画調整官 菊池雅彦 氏 他
2. 事例研究（立地適正化計画検討中の事例を通じた課題等について）
3. 質疑、意見交換等  
（参加者から、あらかじめ立地適正化計画及びその実現手法としての都市再生整備計画事業等についての課題、質問等を提出していただき、講師を交えて意見交換等を行いました。）





## § 第23回合同講演会の開催

都市みらい推進機構、都市地下空間活用研究会（地下研）及びアーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）の三者合同による第23回合同講演会を、1月27日（火）15時30分から都市計画会館において開催いたしました。

今回は、国土交通省国土政策局国土情報課 西澤 明 課長をお迎えし、「G空間情報の活用と高精度測位社会の実現をめざして」と題してご講演いただきました。

当日は約30名の会員の方々が参加されました。

ご講演内容については以下の通りです。（講演資料は当財団HP「会員ライブラリー」およびUITのHP「講演会」にアップロードされています）

### 【講演内容】

日 時：平成27年1月27日（火）15時30分～17時00分

会 場：都市計画会館 会議室

（東京都千代田区紀尾井町3-32）

演題名：G空間情報の活用と高精度測位社会の実現をめざして  
～東京駅周辺高精度測位社会プロジェクト～

講 師：国土交通省 国土政策局 国土情報課長 西澤 明 氏

（内容）

1. 2020年東京オリンピック・パラリンピックの課題
  - 訪日外国人を含む、観客、ボランティアの円滑な移動
  - 災害が発生した時の避難誘導

- ・準天頂衛星などの衛星測位の高精度化
- ・屋内測位技術の普及
- ・屋内電子地図整備技術

2. 高精度測位技術、電子地図情報などを活用したソリューション
  - （現状では）スマホ等を利用したきめ細かなナビゲーション
  - 災害発生時の情報提供、避難誘導
  - ※多言語対応

3. 東京駅周辺高精度測位社会プロジェクト
  - 上記のようなサービスを目指した取り組みの紹介



ご講演：西澤 明 氏



会場での講演の様子



質疑風景＜都市計画会館＞

本合同講演会は、今後も国土交通省・関係各課にご協力をいただきながら、開催して参ります。

## § アーバンインフラ・テクノロジー推進会議 都市づくりについての技術研究発表および講演会 開催結果

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）では、都市のインフラ整備に関わるテクノロジーについて、企業・公共団体・大学などで得られた研究・技術・ノウハウ・制度などを互いに発表・討論することによって技術を全国の都市づくりに活かすことを目的にして、技術研究論文発表会を東京会場と大阪会場で毎年各1回ずつ開催しています。



昨年11月6日第26回技術研究論文発表会（東京会場）丸ビルコンファレンススクエア8階での開催に引き続き、今年2月5日「都市づくりについての技術研究発表および講演会」を（大阪会場）建設交流館8階グリーンホールにて開催いたしました。

開会式では、当推進会議の技術研究発表委員会 高橋 洋二 委員長（東京海洋大学 名誉教授）からの主催者挨拶に続き、ご来賓の植田 剛史 国土交通省近畿地方整備局建政部長よりご挨拶を頂戴いたしました。

技術研究発表では、第26回技術研究論文発表会（東京会場）にて表彰された「環境・エネルギー・防災」「情報・交通」「都市の再興・まちづくり」の3部門各分野の優秀賞授賞論文（各1編）を発表していただきました。

講演会の講演Ⅰでは原田 一郎 堺市技監から「泉北ニュータウンの再生について」と題して、また、講演Ⅱでは本田 武志 国土交通省都市局街路交通施設企画室長から「都市行政に関する最近の動向」と題して、ご講演をいただきました。

昨年に引き続き今回も、公益財団法人 都市活力研究所（UII）様との共催により、当日は150名のご参加をいただき、盛況のうちに開催することができました。お忙しい中ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。

日 時：平成27年2月5日（木）13時30分～17時00分  
会 場：建設交流館 グリーンホール（大阪市西区立売堀2-1-2）  
テーマ：都市を再興する技術とマネジメント



【左】 主催挨拶：  
高橋 洋二  
技術研究委員会委員長

【右】 来賓挨拶：  
植田 剛史  
国土交通省  
近畿地方整備局建政部長



会場内の様子<建設交流館>

#### 【技術研究発表／第26回技術研究論文発表会<優秀賞授賞論文>】

A：環境・エネルギー・防災 部門

発表者：清水建設株式会社  
坂井 康伸 氏  
演題名：杭頭絶縁基礎の開発



発表【A：環境・エネルギー・防災 部門】：清水建設(株) 坂井 康伸 氏

B：情報・交通 部門

発表者：株式会社日建設計総合研究所  
安藤 章 氏  
演題名：中山間地域におけるICT活用型交通・医療統合サービスの実証



発表【B：情報・交通 部門】：(株)日建設計総合研究所 安藤 章 氏

C：都市の再興・まちづくり 部門

発表者：独立行政法人 都市再生機構  
久野 暢彦 氏  
演題名：防災公園と老朽化公共施設の集約更新を一体整備するまちづくり



発表【C：都市の再興・まちづくり 部門】：(独)都市再生機構 久野 暢彦 氏

\*各発表論文はUIT ホームページに掲載してありますのでダウンロードして読むことができます

<http://www.uit.gr.jp/>



**【講演会】**

■講演Ⅰ

演題名：泉北ニュータウンの再生について  
講 師：堺市技監 原田 一郎 氏

講演では、堺市・泉北ニュータウンでの取り組みについて、以下の内容で詳しくご説明いただきました。

(内容)

1. 泉北ニュータウンの概要と特長
2. 泉北ニュータウンの現状と課題
3. 泉北ニュータウン再生に向けた取り組み
4. 泉北ニュータウンにおける最近の動向



講演Ⅰ：堺市技監 原田 一郎 氏



■講演Ⅱ

演題名：都市行政に関する最近の動向  
～都市再興戦略について～  
講 師：国土交通省都市局街路交通施設課  
街路交通施設企画室長 本田 武志 氏

講演では、都市計画をめぐる最近の動向について、以下の内容で詳しくご説明いただきました。

(内容)

1. 国土のグランドデザイン
2. 都市再生特別措置法の改正
3. まち・ひと・しごと創生
4. 都市分野の海外展開
5. 新たな時代の都市マネジメント小委員会
6. 平成 27 年度予算



講演Ⅱ：国土交通省都市局街路交通施設企画室長 本田 武志 氏



## § 平成 26 年度 第 3 回都市基盤施設整備見学会の開催

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議では、皆様方の関心が高いプロジェクトを選定し、現地にて、当該プロジェクトのキーマンから詳しく説明して頂く見学会を行っています。

今回は「都市づくりについての技術研究論文発表と講演会」の翌日 2 月 6 日（金）に、3 月末の姫路駅北駅前広場のグランドオープンに向けて、既に完成したキャッスルガーデン（姫路駅北駅前広場内）をはじめ、着々と進む駅周辺整備事業の交流見学会を開催いたしました。

見学会は新都市拠点整備事業として姫路駅周辺の利便性を高めるために取り組んでこられた、姫路市様のご協力を得て 14 名の参加者を案内していただきました。

当日は JR 姫路駅中央改札口に集合し、駅前の会議室にて姫路市都市拠点整備本部 副本部長 松本 孝明様、姫路市都市拠点整備本部 姫路駅周辺整備室 室長 森 典 様 から姫路駅周辺整備事業についての概要説明および質疑応答を行いました。その後、姫路駅北側の各所を視察しました。

■姫路駅周辺整備事業 概要説明

- 姫路市の概要と上位計画について  
姫路市総合計画 「ふるさと・ひめじプラン 2020」  
姫路市都心部まちづくり構想  
新たなまちづくり 「CASTY21」
- 基盤整備（連続立体交差事業等）  
姫路市幹線道路網計画  
JR 山陽本線等姫路駅付近連続立体交差事業  
南北市街地一本化の推進  
姫路駅周辺 JR 新高架の活用



都市拠点整備本部副本部長 松本 孝明 氏



- 基盤整備（土地区画整理事業）  
姫路駅周辺土地区画整理事業
- エントランスゾーンについて  
姫路駅北口駅前広場の計画  
姫路駅北口駅前広場整備推進会議  
姫路駅北口駅前広場デザインコンセプト  
官民協働の取り組み
- コアゾーンについて  
歩行者ネットワーク



姫路駅周辺整備室 室長 森典氏

### ■ キャッスルビュー

世界文化遺産・姫路城への玄関口として、姫路駅北駅前広場に整備された展望施設。この眺望デッキは、JR 姫路駅の中央改札口から姫路城へ通じるメインストリート「大手前通り」に真っ直ぐに繋がる導線上に位置しており、利用客を迎えるメイン・エントランスとなっています。



JR 姫路駅前のキャッスルビュー 【キャッスルビュー 2F】 内側

キャッスルビューの高さは約 15m、鉄骨造り 2 階建て、巨大な門のような外観が特徴。消炭色の鉄と木材にガラスが組み合わせられています。姫路市の製造品出荷額上位の座を保つ鉄鋼製品の「鉄」が採り入れられており、「杉」は、市内の中山間地・安富町産の杉材などを使用しているとのことです。

### ■ 連絡通路

「姫路ターミナルスクエア」が 1 月 27 日に竣工し、4 月オープン予定だそうです。2 階が連絡通路で眺望デッキとつながっています。連絡通路も眺望デッキと同様、「鉄」と「杉」とガラスが取り入れられたデザインでした。



【姫路ターミナルスクエア】

【連絡通路】眺望デッキからつながる

### ■ キャッスルガーデン

駅前のピオレ姫路とフェスタビル南館の間に「城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場」というデザインコンセプトで、国内最大級の駅前広場として再整備されたキャッスルガーデン。地下式庭園「サンクンガーデン」は、石垣などのデザインを施して姫路城外濠をイメージした水と緑あふれる憩いの場になっていました。



美しく整備された駅前の地下式庭園 広々とした芝生広場

「キャッスルガーデン北広場」（芝生広場）は、広さ芝生約 900 平方メートルで、芝生の南側にはイベントやミニライブなどにも使用できる約 190 平方メートルのウッドデッキステージが設置されていました。

### ■ ピオレ姫路／屋上庭園と地下通路

地上 34m、広さ 1900㎡に位置する本館屋上の「屋上広場」。北デッキからは大手前通りとその先に立つ姫路城、南デッキからは JR 姫路駅を駆け抜ける新幹線が一望できます。また、壁面ガラスの奥に、設置された太陽光採光システム「ひまわり」で集めた太陽光で、地下庭園「サンクンガーデン」の樹木や地下通路を照らしていました。



【姫路城】屋上庭園からの眺望



【太陽光採光システム】「ひまわり」で育つ地下通路の樹木

3 月末のグランドオープン後は、訪れる人々の快適性に唯一無二の感動が加わった場になるものと大いに期待が高まりました。



## § 機構の活動状況

日	12月	日	1月	日	2月
16	立地適正化計画実務講習会	21	「今後の市街地整備事業のあり方に関する検討会」(第8回)	24	「今後の市街地整備事業のあり方に関する検討会」(第9回)
17	都市基盤・情報発信検討調査打合せ(第4回)				
24	平成26年度版「都市再生整備計画事業ハンドブック」発行				
26	「今後の市街地整備事業のあり方に関する検討会」(第7回)				

### 【機構関係諸団体】

#### 《都市地下空間活用研究会》

2	地下利活コア会議	14	G空間	5	八重洲ヒヤリング
4-5	京都 地下鉄の水害リスクマネジメントセミナー	14	早稲田大学オープンカレッジ	5	大阪分科会川崎アゼリアヒヤリング
10	早稲田大学オープンカレッジ	15	八重洲 WG	10	八重洲分科会森ビルヒヤリング
15	地下シンポ委員会	16	尾島研	13	G空間
16	大阪分科会	19-21	中国前海	17	G空間
18	事業部会・国際交流部会合同会議	22	地下空間シンポジウム見学会	18	早稲田大学オープンカレッジ
18	地下防災勉強会 & 第42回定例懇話会	23	地下空間シンポジウム	20	G空間国交省
		27	第23回合同講演会 (G空間情報の活用と高精度測位社会の実現をめざして)	24	八重洲地下街
		28	エンジニアリング協会		
		29	地下空間研究委員会幹事会		
		29	地下利活コア会議		
		30	国土情報G空間		

#### 《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

11	技術交流部会 第26回技術研究発表会・第21回交流展示会 反省会	23	第3回都市基盤施設整備見学会 参加申込締切	5	都市づくりについての技術研究発表と講演会
		23	第23回合同講演会 参加申込締切	6	第3回都市基盤施設整備見学会 ＜姫路駅周辺整備事業＞
		27	第23回合同講演会 (G空間情報の活用と高精度測位社会の実現をめざして)		
		28	都市づくりについての技術研究発表と講演会 参加申込締切		

#### 《まちづくり情報交流協議会》

9	全国研修会(長岡)資料公開	7	第10回まち交大賞募集開始	10	第2回企画運営委員会(電子会議)
25	メルマガ第10号発出	7	メルマガ第11号発出	20	第10回まち交大賞応募締切
		16	まち交ネット協議会会員ページID・パスワード変更		
		30	第10回まち交大賞 事前連絡		

### (一財)都市みらい推進機構

住所 東京都文京区関口1-23-6  
 プラザ江戸川橋ビル201号  
 電話 03-5261-5625  
 FAX 03-5261-5629  
 Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧下さい  
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・都市再生整備計画事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援
- ・エリアマネジメント企画 他